



NSSOLの前原卓己上席執行役員（右）と
InsureMOの河上勝社長

日鉄ソリューションズ・InsureMO

プラットフォーム販売で提携
保険会社のモダナイゼーション後押し

日本製鉄グループのシステムインテグレーターである日鉄ソリューションズ(株)(NSSOL)とシンガポール発インシュアテックの日本法人であるInsureMO(株)はこのほど、保険業界向けプラットフォームの販売でパートナーシップを締結した。保険業界に対する豊富な実績と高い技術力を持つNSSOLと、グローバルでの実績も高く、デジタル領域で先進性を有するInsureMOが提携することで、保険会社のモダナイゼーションを後押しする他、両社が強みとするAIエージェントの導入支援を進めていく考えだ。

両社で今後推進していくのは、InsureMOが開発した保険業界向けミドルオフィスプラットフォーム「InsureMO」。クラウドネイティブの「マイクロサービス」をコアテクノロジーにしており、数千個に及ぶ保険業務関連サービスの機能を最小単位の

「部品」に分割し、それをAPIで連携してシステム構築する。保険商品構成の細かい設定が可能で、短期間で新商品のリリースや新機能・サービスの追加が容易にできる。エンタープライズレベルで利用できるノーコード/ローコードによるシステム構築

アプローチにもなっている。また、今年度から同プラットフォーム上自社開発した「マルチAIエージェント」を実装しており、API連携によ

って既存システムと統合する。また、今年度から同プラットフォーム上に入り込んだAI活用を可能にする。元々銀行・証券業界向けソリューションを積極

AIエージェントの導入支援も推進

的に提供してきたNSSOL金融ソリューション事業本部では、そこで培ったノウハウを基に、近年、保険関連事業に注力しており、基幹システム

のレガシーマイグレーションやDX推進・AI活用、経営管理・資産運用、防災(損保)、ヘル

スケア(生保)などで取り組みを進めている。とりわけレガシーマイグレーションについては、2000年代から親会社日本製鉄のメインフレーム資産のオープン化に取り組んだこともあって、そのプロジェクトで得た知見を保険会社のモダナイゼーション案件に活用す

ることで多くの実績を築いている。また、AI・データサイエンス領域では、約200人の研究員が所属する研究所においてAIやデータ分析に特化した研究を行っており、国際的なトップカンファレンスでの講演やコンテストにおける受賞実績も多く、すでに150社以上のAI導入プロジェクトを支援している。

保険業界に対してより注力していく事業戦略を掲げているNSSOL金融ソリューション事業本部では今回、これからの保険基幹システムのモダナイゼーションに求めら

れることとして、従来の「システムサステナビリティの担保」や「業務効率化・高度化」に加え

て、「API開放によるエコシステム連携」と「AI Ready(組

織としてAIを効果的かつ効率的に導入・活用できる準備が整った状態)」を定めて、そうした将来像に合致する製品を求めて国内外で1年以上にわたって調査を

実施。その結果、保険基幹業務機能を粒度の細かいサービスとしてAPI公開しているとともに、疎結合な部品としてAIエージェントが容易に利用可能な一方、不正リクエ

スト排除、レート制限、認証ノ権限確認機能などAIリクエストの制御・監視を行う機能を備える

「InsureMO」がNSSOLの求める要件を最も充足していると判断し、今回の提携に至った。

今後は、NSSOLが「InsureMO」の取り扱いを開始し、システムインテグレーターとしての豊富な実績と高い技術力を生かして、国内

保険会社の幅広いニーズに合わせたシステムモダナイゼーションのソリューション提供を加速させていくとともに、これから活用領域の拡大が予想されるAIエージェントについて両社で協働取り組みを進めていくという。

NSSOL金融ソリューション事業本部では、「保険業界において、当社はまだ比較的新しく参

入したシステムインテグレーターであり、グローバルで活躍しているInsureMOのプラットフォームを通じた新しい取り組みや先進的な提案を進めることで、今後のお客さまの変革をサポートしていければと考えている」としている。また、InsureMOの

河上勝社長は「日鉄ソリューションズは、当社の製品哲学やストラテジーについての理解が深く、私たちが一緒にビジネスを進めていく上でベストのパートナーと言える。今回のプラットフォーム販売以外にも、保険会社向けサービスの開発などで協働できればと思うている」と述べ、今後の提携の進展に期待を寄せている。